

アルパ演奏会

shiomitsu

塩満

y u k i

友紀

Arpista(アルパ奏者)

陽気で踊り出したくなるような力強いリズム、透明感のある柔らかい極上の音色...

塩満友紀は日本におけるアルパの第一人者・ルシア塩満の下でアルパを習得し、2013年に全日本アルパコンクールで金賞を獲得。さらにその後アルパを学ぶためメキシコとパラグアイへ渡る。持っていた才能が現地で花開き、デビュー作『Al volar!』で大きくはばたこうとしている。

陽気で踊り出したくなるような力強いリズム、透明感のある柔らかい極上のアルパの音色をぜひ体感して下さい。

☆☆☆



アルパとは、撥弦楽器の一種でスペイン語でハーブの意味である。日本では特にラテンアメリカのフォルクローレで用いられる民族的な楽器を指す。パラグアイ・ペルー・メキシコ・ベネズエラなどで演奏されており、特に盛んなのはパラグアイである。別名、ラテンハーブ、インディアンハーブとも呼ばれる。

《プロフィール》

2006年16歳のとき、地元座間のホールでルシア塩満氏のコンサートをきっかけにアルパを同氏に師事する。ルシア塩満アルパ教室のピックアップメンバーによる「ラス・カンパーナス」に参加し、2012年にはフェルナンド・アルミド・ルーゴ・メンデス 大統領に、2014年にはオラシオ・カルテス大統領に御前演奏を捧げる。

2013年3月、中央大学を卒業。メキシコへ渡り、約1年間、メキシコシティにてセルソ・ドゥアルテ氏に師事。ベラクルス州セリョで行われた第13回アルパフェスティバルに参加。2月に行われた彼とのコンサートは好評を博した。同年11月、千葉市で行われた第9回全日本アルパコンクールに参加し、金賞、千葉市長賞、及びパラグアイ大使賞受賞。留学後はルシア塩満氏に再び師事し、アルパの裾野を広げるため演奏活動をしている。

2018年9月21日(金) 18:30 開演

大田区アプリコ小ホール

主催：大田こども劇場 制作：舞藝舎



第一部

コンドルは飛んでいく
小さな秋見つけた～黄昏色の秋
虹のむこうに
君しのぶ夜
いのちの記憶

第二部

遠いあなたへ
コラソン・デ・ニーニョ
コーヒー・ルンバ
コンドルの飛翔
グアラニ帝国
川の流れるように

* 曲目が変わる場合があります。

